

福島の魅力が大集結！大阪の専門学生が企画・運営 ふくしまマルシェ at OS 広場

「フルーツ王国・福島」を代表するりんご、福島銘菓、金賞受賞蔵の日本酒、ふくしまっ子のソウルフードなど、大阪から福島県の魅力を発信します。

日時：2024年11月17日（日）10：00～17：00

場所：OS 広場イベントスペース 大阪市北区小松原町 3-3

学校法人山口学園 ECC 国際外語専門学校（大阪市北区 学校長：大谷内圭）の選択教科「つながる福島」受講生が、福島県魅力を発信する福島銘産品市「ふくしまマルシェ」を開催します。防災・減災、地域貢献に関心のある学生が集い、福島県視察研修で訪れた農園（まるせい果樹園）のりんごを販売する他、福島県からも特産品販売店が来阪出店します。また、福島県出身のタレント「なすび」氏による、ラジオ福島公開収録も開催。大阪市北区の中心地・OS 広場イベントスペースに、学生の「ふくしま愛」が広がります。



イベント名：福島銘産品市「ふくしまマルシェ」

主催：学校法人山口学園 ECC 国際外語専門学校「つながる福島」受講生

目的：東日本大震災と原発事故からの復興支援と風評風化対策・福島県魅力を発信

出店者：福島県大阪事務所（日本酒、おつまみの販売）／関西福島県人会（福島県産牛の串焼き販売）／ふくしま果樹加工考案室（福島市産の果物を使ったソーダとフルーツソースの販売）／Bond & Co.(アイガモ栽培米と日本酒の販売)／株式会社スマイルファーム（アンズリウムの販売）／株式会社ラジオ福島（「Radio de Show」公開収録）／ECC 国際外語専門学校「つながる福島」（福島県産品の販売：りんご、野菜、銘菓、ソウルフード「凍天」等）

協力：オーエス株式会社・大阪市北区「ジシン本」・一般社団法人あおぞら湯・株式会社ラジオ福島・福島県

本件に関するお問い合わせ先

学校法人山口学園 ECC 国際外語専門学校 教務課 新谷優貴子（あらやゆきこ）

TEL：06-6311-1446 / Email: yaraya@ecc.ac.jp

◇選択授業「つなぐ福島」教科概要◇

本校は、今年 9 月、関西地方での福島県の情報発信を継続的に実施するために、福島県と連携協定を締結し、選択教科「つなぐ福島」を新設・開講しました。東日本大震災により、未曾有の複合災害に見舞われた福島県について学び、風評風化対策、および、福島県の現状を知り、研究し発信する教科。在籍コースを問わず選択が可能で、防災や地域貢献に関心を抱く学生が、現在 9 名受講中。受講生は、実際に福島県に赴き、福島県の復興の現状を確認したり、災害・防災を「じぶん事」として捉えるために、大阪北区の外部団体「ジシン本」や社会福祉協議会と連携し、学びを深めています。

授業内容

福島県の基礎知識・東日本大震災原子力災害からの歩み・食の安全性について・防災と減災・自助共助公助・救命救急講習・福島視察研修（2泊3日）・福島魅力発信のため関西地域のイベントに参加し、銘産品の販売や運営ボランティアを実施



左上：「つなぐ福島」受講生 上中・右「授業の様子」

左下：「大阪市北区イベントにて物販」 下中「内堀福島県知事表敬訪問」

下右：「福島研修にて」



↑「つなぐ福島」受講生
グローバルビジネスコース・張晏寧

私は地震が多い台湾出身ということもあり、福島での出来事に強い関心を持っていました。メディアで報道される福島は原発事故や食の安全、処理水問題に焦点が当てられていますが、それが福島の全てではないと感じ、実際に自分の目で見て確かめたいと『つなぐ福島』の授業を受講しました。実際に福島を訪れ、政府の政策だけでなく、色々な企業、地元の方々が力をあわせて、前向きに復興に取り組む姿に感動しました。現地で感じたことを、拙い日本語でも伝えることが大事だと思いますので、SNSを通じて福島の魅力を発信していきたいです。



← 福島市民のソウルフード「凍天（しみてん）」。学生が、福島研修で食べた事をきっかけに「ふくしまマルシェ」の商品に選んだ。

本件に関するお問い合わせ先

学校法人山口学園 ECC 国際外語専門学校 ホテルコース主任： 新谷優貴子（あらやゆきこ）

TEL : 06-6311-1446 / Email: yaraya@ecc.ac.jp